

クトを展開。グッゲンハイム美術館など観光による経済効果。
・豊島区（東京）
借金23区ワースト1から、文化の街へ大改造。
池袋の大改革「芸術で食う」街に変貌。
明るく活気ある街・安心して立ち寄れる街へ。
25~39歳の子育て世帯の流入が続き税収も拡大。
○越前市大きな可能性
伝統工芸・文化財・街並み・音楽祭など地域資源、文化資源が豊富。



ゲスト紹介

朝倉由希様

東京藝術大学・静岡文化芸術大学 非常勤講師

静岡文化芸術大学共同研究員

武生国際音楽祭プロジェクトマネージャー

1977年、福井市生まれ。一乗谷で育つ。

1995年 福井県立藤島高等学校卒業。

1995年 京都大学文学部入学。心理学専攻。オーケストラ活動にはまり音楽三昧の4年間。

2002年 新設の東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科に1期生として入学。

2004年 同大学大学院応用音楽学研究室に進学。芸術事業マネジメント現場の調査研究に携わる。

2009年 博士号取得。

2012年 福井に戻り、武生国際音楽祭に参画。

報告事項

幹事報告：宇野晃成幹事

・米山奨学生ハイライトニュースが届いています。
・2月ロータリーレート 1 \$ = 102円

第4回クラブ協議会議事録（抜粋）

○上半期報告と下半期計画

会計（鎌谷）：予算内で事業を行ってください後期の事業について計画の提出をお願いします。

本日（2月4日）の例会
第一例会行事
60周年記念事業について
辻岡俊三実行委員長

2月11日

会員選考（白崎）：新入会員が数名入会しました。後期も入会候補者を見つけていきたいと思います。
広報（山田）：60周年の記念事業を広報します。
会報（宮前）：広報の紙面を工夫しました。
出席・健康（竹内）：出席率が回復。夜間例会の効果があると思います。健康管理を、例会で取り上げ。
親睦（藤井）：IM、しくら賞、クリスマス家族会の事業実施。後期事業は、60周年記念式典と地区大会。
プログラム（河合）：後期の例会の会員卓話やゲスト卓話のご協力よろしくお願いします。

資料（河嶋）：資料作成に励みたいと思います。
職業奉仕（田中大）：商業高校、武生東高校と課外授業を計画しています。
国際奉仕（田中茂）：2/22~3/2ネパールでエコミュージアムの補修の完成式典に7名参加予定。5月、中壢RCが60周年記念式典に合わせて来訪します。富山県の立山を観光予定。
青少年奉仕（石本）：11月しくら賞。5月地区事業でRYLAを予定。6月報告会として会員卓話。
ロータリー財団（斎藤）：10月の月間でご協力いただきありがとうございました。
米山奨学（瀧見）：12月末で、1,048,000円の寄付。残りは、一人25,000円を目標。

会員記事

宮本 俊会員（越前市建国記念事業実行委員会・委員長）より

2月11日（祝・建国記念の日）午前10時より商工会議所4Fにて越前市「建国記念の日」式典・記念事業が行われます。皆さんのご参加をお待ちしております。

ニコニコ箱 …… 5,000円 累計 801,300円

今日の格言 ニコニコ箱委員長 玉村一男

林 真理子（作家）

した事の後悔は、

　　日に日に小さくする事ができる。

していない事の後悔は、

　　日に日に大きくなる。

・朝倉様本日はよろしく。

【河合敏一】

・ちょっと

【白崎弘康】

例会変更情報／福井県内ビジター受付（2月5日～2月18日）

2月 3日 敦賀西RC 12:00～12:30 ニューサンピア敦賀ロビー
2月13日 福井水仙RC 18:00～18:30 福井パレスホテル
*変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

2月18日

炉辺会合報告

2月25日

休 会



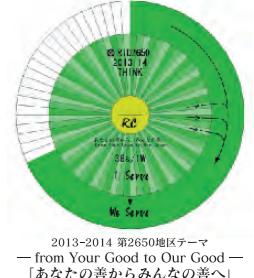
2013-2014 RI テーマ
ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を

TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

2014.2.4 No. 2315



創立/1954年（昭和29年）6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
会長/奥村 忠 幹事/宇野晃成 会報委員長/宮前貴司

第2900回 例会記録 平成26年1月28日(火)

本日出席会員37名

会員総数
60名

メークアップ（前々回） 8名

出席率（前々回補正） 79.25%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト 朝倉由希氏

会長挨拶 第60代会長 奥村 忠



本日は市販薬の内服量について述べてみます。内服薬の「用法・用量」には「成人（15歳以上）」と記されています。薬の適量はその人の体表面積で決まり、年齢とは関係ありません。それをなぜ年齢で表記するかというと、体表面積を知っている人は少く、測定困難で実用的ではないからです。つまり、成長すれば体表面積も増え、その目安に年齢を用いた方が合理的というわけです。15歳になれば体格も内蔵器ももう成人並みに発達おり、ここで分けしても支障はないということです。

薬の服用時間（食前、食後、食間、就寝前など）は薬によって異なることはご承知の通りです。これはあくまでおおよその時間で正確に30分や2時間ではないといけないわけではありません。時間が多少ずれても、飲み忘れないことの方が大切です。

食前は胃が空っぽで、食べ物や胃酸の影響を受けないため、一般的に薬は早く吸収され、早く効果を現します。その代り胃を刺激しやすく、胃を荒らしやすくなります。

食間とは、食事中に薬を飲むことでなく、「食事と食事の間」という意味で、食事を終えて約2時間後が目安となります。食後2時間たった頃は、胃が消化吸収の働きをすっかり終えているので、胃酸の分泌が少なく、吸収も良好です。食後とは、食事を終えて30分経つと薬が吸収されやすい状態になり、比較的胃を荒らさずに、食後に飲むことで薬の飲み忘

れを防ぐことができます。また、食事を摂らない時があっても服用してください。服用しないと1日の服用量が不足し、期待した効果が得られない恐れがあります。逆に多く飲んだり、短い間隔で飲むと薬が効きすぎて副作用を起こすことがあります。

点眼薬についてはどの薬でも1滴、目に入れば充分です。何滴入れても目からあふれて出てしまいます。特に緑内障の点眼薬は一日1回、2回、3回の目薬がありますので点眼回数を守ってください。それから複数の目薬を同時に点眼する場合は、間隔を5分空けてください。時間がないときは3分でも結構です。間隔をあける理由はすぐ点眼すると先に入れた目薬を洗い流してしまうからです。

プログラム

ゲスト卓話

文化政策最前線

～都市の豊かな発展と創造性～

武生国際音楽祭

プロジェクトマネージャー

朝倉由希氏



○文化政策とは？「ものの豊かさから心の豊かさへ」

文化財の保護のみならず、芸術文化の振興、地方の文化行政活発化へと変化させる。

○現代社会における文化の重要性

文化は「ゆとりと豊かさ」の象徴との認識から「ゆとりがないときには我慢すべきもの。」「他の政策領域よりも優先度が低い。」と捉えがちだが「豊かな社会をつくる基盤」、経済や社会発展をささえる「インフラ」と捉えるべき。芸術文化に触ることによる心の豊かさ、生活の質の向上、魅力あるまちづくり、福祉や教育との接近が実現できる。

○創造都市（クリエイティブ・シティ）とは

芸術文化のもつ創造性で、都市を蘇らせ発展させる。製造業衰退・失業率増加・犯罪都市が文化で蘇る。

○事例紹介

・ビルバオ（スペイン）

重工業の衰退から、文化を核とした再生プロジェ